

出雲市保幼小 一貫教育が 始まっています

●なぜ保幼小一貫教育が必要なのか？

保育所・幼稚園から小学校に入学する際に、とまどいや段差を感じ、スムーズに生活が繋がらない子どもが増えてきているという「小1プロブレム」が問題にされています。出雲市においても、小学1年担任への調査では、ほぼ半数の小学校に「小1プロブレム」と思われる課題を抱えている児童がいることが報告されています。

したがって、保育所・幼稚園での学びを小学校の学びへとなめらかにつなぐことをねらいとしています。



木下光二准教授

1月26日(火)、出雲市保幼小一貫教育推進委員会の主催のもと、出雲市内の保育所・幼稚園・小学校の保幼小連携担当者を対象にした講演会が行われました。出雲市の保幼小連携担当者が一堂に会して研修会を開催するのは、今回が初めてのことで

講演講師は、鳴門教育大学大学院の木下光二准教授でした。木下准教授は、小学校と幼稚園の両方で勤務経験があり、幼小の連携教育・一貫教育を実践してこられた方で、国内における保幼小連携・一貫教育の推進役の一人です。

当日は、120人を超える教職員等が熱心に話を聞き、講演会終了後は、中学校区ごとに担当者同士の顔合わせと意見交換会を行いました。

参加者の感想(抜粋)

★木下先生のお話は、本当に具体的に、わかりやすくよかったです。保幼小連携の第一歩を踏み出すヒントが得られた感じがします。保幼小連携を難しく考え、いた部分が少ない楽になり、見通しをもてたように思います。

★連携の本来の意味である「子ども(こども)のこころ」を今一度考え直すことができました。

★保幼小の連携を見直し、お互いに子どもたちを伸ばせる機会となるよう考えていければと思います。「気持ちを押さえる」とことは、今の子どもたちにはとても大切な経験になると思います。



今後、子どもたちのために発達に即した教育を考えながら、保育所・幼稚園での育ちと学びを小学校での育ちと学びへとなめらかにつなげていくために、小学校が中心となって具体的な取り組みをしていきます。それが効果あるものとなるためには、家庭や地域・関係機関と協働して進めていくことが大切です。今後とも、市民の皆さまの、保育所・幼稚園と小学校の連携・一貫教育にご理解とご協力をお願いいたします。

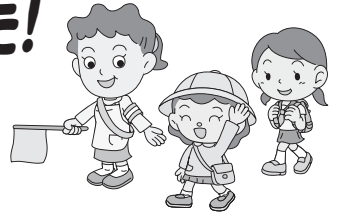


朝山幼稚園・小学校での交流活動の様子

- 地域学校運営理事会についてのおたずねは
学校教育課 ☎21-6196
- 保幼小一貫教育についてのおたずねは
 - ・保育所…少子対策課 ☎21-6964
 - ・幼稚園…教育政策課 ☎21-6191
 - ・小学校…学校教育課 ☎21-6196

学校の応援団

「地域学校運営理事会研修会」を開催しました!



地域学校運営理事会は、地域や保護者の皆さんに、学校の教育活動への理解を深め、これまで以上に支援・協力していただくための組織で、出雲市内全ての公立小中学校に設置されています。

出雲市では、これを、「学校の応援団」と位置づけています。理事会の目的は次の3点です。

- 子どもの健全育成
- 地域に信頼される開かれた学校づくり
- 地域・学校・家庭それぞれの教育力の向上

1月16日(土)、約450人の理事や教職員などが参加し、本年度二回目の「地域学校運営理事会研修会」を開催しました。研修会では、今市小理事、荒木小理事、河南中理事の四理事会の特色ある実践発表がありました。

今市小学校からは、子どもたちの基本的な生活習慣の育成をめざして、学校・地域・家庭の三者が連携して行っている取り組みのうち、「図書館支援」について報告がありました。図書ボランティアによる活動は、読み聞かせや人形劇、ペープサート等の読書活動と、図書館の掲示や本の修繕等の整備活動の二つの活動があります。こうした活動の成果として、



荒木小学校からは、「コミュニティセンターとの連携による学校支援」について報告されました。学習支援ボランティア年間計画書を作成して、地域から有効な支援が受けられるように、ボランティアとの全体打合せや調整をコミュニティセンターと連携して行っています。こうした活動の成果として、

塩冶小学校からは、理事が行う、学校の運営に反映させるための「学校関係者評価」について報告されました。学校評価項目を重点化し、評価項目を絞り込んだこと、学校評価を年二回実施し、その結果と改善策について理事会で協議し、その結果について情報発信したことが特色でした。こうした活動の成果として、

●昨年度より、たくさんの方の理事に学校に来ていただくことができた

●学校がやろうとしていたことが具体的に見え、分かりやすくなったこと、学校と理事との意志の疎通が図れた

●荒木小学校からは、

●子どもたちが地域のよさや地域を守っている人々の思いにふれ、地域への愛着が深まり、地域を大切にしたいという気持ちが育っている

●子どもたちが地域を身近に感じ、進んであいさつしたり、自分から話しかけたりして、人との係わり方を学ぶことができた

●河南中学校からは、「教育を語る会」について報告されました。理事、生徒、保護者、関係機関、学校が一堂に会して、定期的に、テーマを設定して、意見発表や意見交換をしています。こうした活動の成果として、

●生徒が何を考え、何を思っているのかについて、学校だけでなく地域や関係機関、保護者が共通理解する場となった

●お互いの結びつきが深まり、地域の課題を知る機会となった

●このように地域学校運営理事会や地域学校運営ブロック協議会では、地域・学校・家庭が一緒になって、地域の子どもたちを育てていく話し合いや具体的な取り組みを展開しています。

●図書館の装いは楽しい雰囲気を作出し、子どもたちが行きたくなる場所となった

●子どもたちの読書量も確実に増加した

●子どもたちが地域のよさや地域を守っている人々の思いにふれ、地域への愛着が深まり、地域を大切にしたいという気持ちが育っている

●子どもたちが地域を身近に感じ、進んであいさつしたり、自分から話しかけたりして、人との係わり方を学ぶことができた

●河南中学校からは、「教育を語る会」について報告されました。理事、生徒、保護者、関係機関、学校が一堂に会して、定期的に、テーマを設定して、意見発表や意見交換をしています。こうした活動の成果として、

●生徒が何を考え、何を思っているのかについて、学校だけでなく地域や関係機関、保護者が共通理解する場となった

●お互いの結びつきが深まり、地域の課題を知る機会となった